

## 気仙地域における木質バイオマスエネルギー利用促進の取組について

### 1 気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会議の開催

平成29年2月28日、住田町町民ホールで、「気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会議(以下「バイオマス会議」という。)」を開催しました。

このバイオマス会議は、林業、木材産業のみならず産業分野、公共施設等幅広い分野への木質バイオマスエネルギー利用を促進するため、平成27年9月に上げたものです。

バイオマス会議の構成は、県の地域振興センター、保健福祉環境センター、水産振興センター、土木センター、農業改良普及センター、農業研究センター技術部南部園芸研究室、住田整備事務所、水産振興センターの関係課長並びに各市町林務担当課長で構成しています。

### 2 バイオマス会議の内容

バイオマス会議には、県の地域振興センターをはじめとする関係機関の課長並びに各市町から15名が出席しました。

大船渡農林振興センターが県内の木質バイオマスエネルギー利用の現状や気仙地域の導入事例を紹介したほか、導入にあたっての留意事項等について説明しました。

また、農業研究センター技術部南部園芸研究室からは当該研究室で実証している農業用ハウス内の薪ストーブの活用状況等を説明していただきました。

出席者間で県内における木質バイオマスエネルギー利用の現状や気仙地域のチップボイラー等の導入事例を共有するとともに、

木質燃料の品質管理が課題であることなども共有することができました。



バイオマス会議の様子

室内の検討終了後、住田町内の社会福祉法人のすみた荘の木質チップボイラーの活用状況を視察し、出席者は熱心に利用状況などについて質問をしていました。



現地視察の様子

### 3 今後に向けて

木質バイオマスエネルギー利用を促進していくため、林業、木材産業業界に留まらず、幅広い分野への普及啓発が必要です。このような機会を通して木質バイオマスエネルギーへの関心を一層高めるとともに、地域住民への普及啓発も行っていくと考えています。